

「みやぎきKAGURAフェスティバル2024」の開催について

令和6年8月19日
文化財課

神楽に対する県民の興味、関心を高めるとともに、本県が現在進めている神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するため、県内外の神楽団体による公演等を行う「みやぎきKAGURAフェスティバル2024」を開催する。

- 1 日時 令和6年10月12日（土） 午後2時から午後5時30分まで
- 2 場所 宮崎市民プラザ オルブライトホール
- 3 内容（予定）
 - ・オープニング公演
高千穂高等学校神楽保存会
 - ・基調講演
小川直之氏（國學院大学名誉教授、大学院客員教授）
「みやぎきの神楽の魅力」
 - ・神楽公演
国指定重要無形民俗文化財「祓川神楽」（高原町）
国指定重要無形民俗文化財「球磨神楽」（熊本県人吉市）
- 4 その他
 - ・観覧無料（事前申込が必要）。申込みはハガキ、FAX、特設サイトで8月23日から受付開始。
 - ・神楽公演については、後日、YouTubeでの動画配信を行う。
 - ・公演当日は、受付ロビーにブースを設置し、神楽関連イベント等の紹介、関係自治体による観光PRを行う。

～ ユネスコ無形文化遺産登録を目指して～

みやざきKAGURA フェスティバル2024

令和6年
10.12 土

開演 14:00 (開場 13:00)

会場 終演 17:30

宮崎市民プラザ
オルブライトホール
宮崎市橘通西1丁目1番地2号

オープニング公演

宮崎県立
高千穂高等学校
神楽保存会

基調講演

小川直之氏
國學院大學名誉教授 大学院客員教授

神楽公演

国指定重要無形民俗文化財
祓川神楽 宮崎県高原町
国指定重要無形民俗文化財
球磨神楽 熊本県人吉市



神楽

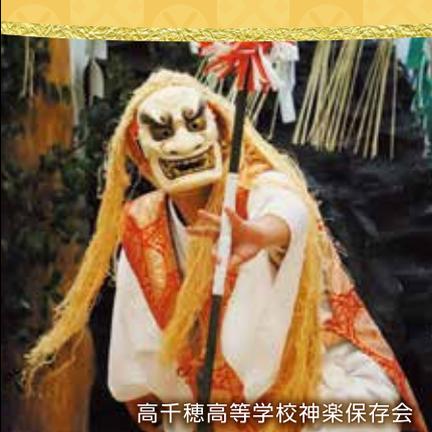
観覧無料

定員 400名

要申込

※定員になり次第受付を終了いたします

祓川神楽



高千穂高等学校神楽保存会



球磨神楽



球磨神楽

主催：宮崎県教育委員会

詳細・お申し込み方法は裏面をご覧ください▶

神楽は、全国各地で独自に発展し、地域に深く根づいてきた、日本を代表する民俗芸能です。

その数は4,000を超えると言われ、宮崎県内でも200以上の神楽が受け継がれています。

しかし、人口減少や少子高齢化などにより、その保存・継承が危ぶまれています。

全国各地の神楽に活気をもたらし、未来につないでいくために、

宮崎県が中心となって、神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。

神楽の魅力を宮崎から全国へ…そして世界へ！

◆ オープニング公演

宮崎県立高千穂高等学校神楽保存会



宮崎県立高千穂高等学校は、国際連合食糧農業機関（FAO）によって世界農業遺産に指定されている「高千穂郷・椎葉山地域」にある唯一の県立高校である。この地域に平安時代から伝わる「高千穂の夜神楽」は、農作物の豊作に感謝し翌年の五穀豊穡を祈るため神々に奉納されてきたもので、現在は世界農業遺産の一部であり国の重要無形民俗文化財にもなっている。高千穂高等学校神楽保存会は、この貴重な伝統芸能を守り未来につなぐことを目的に、2000年から活動を開始し、現在も地域の方に直接指導を受けながら活動を続けている。【今年度の主な活動：第48回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門参加。第13回高校生の神楽甲子園出場。（神楽伝承奨励賞）】

◆ 基調講演

講師：小川 直之 氏（おがわ なおゆき 國學院大學名誉教授 大学院客員教授）



1953年神奈川県生まれ。國學院大學文学部文学科卒業。専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。平成25年度より宮崎県の「みやざきの神楽魅力発信委員会」委員長として、神楽の保存継承や魅力発信、また神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組に携わる。令和5年5月からは宮崎県の「みやざき大使」に就任。その他、独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザーなどを務める。

◆ 神楽公演

ほらいがわ 祓川神楽 国指定重要無形民俗文化財 宮崎県高原町 祓川神楽保存会



祓川神楽は、高千穂峰の中腹にある霧島東神社の門前、祓川集落に伝わる神楽で、約400年前から行われたと考えられている。毎年12月第2土曜日の夕方から翌朝の日の出まで夜を徹して舞われる。主に真剣を使った直面舞が知られており、特に12人の舞手が1時間近く真剣を持って舞う「十二人鉦」は非常に有名である。

その他、宿借り神事の「門境」や、神楽宿の女性に天照大神の役を宛てる「浜下り」等、その殆どが衰退あるいは消滅した旧薩摩藩の「神舞」の様式をよく留めている。

◆ 神楽公演

くま 球磨神楽 国指定重要無形民俗文化財 熊本県人吉市 球磨神楽保存会



人吉球磨地方に伝わる球磨神楽には15世紀の神楽記録が残る。鈴や御幣、剣などを所持する採物舞を主体とする神楽である。

元は33番が伝承されていたが、現在は「三番神楽」「獅子」「岩潜」「大小」「御前」など17番が伝わり、獅子以外はいずれも直面である。元来は神職による神楽であったが、昭和37年に球磨神楽保存会が結成され現在に至る。

10月8日夜、青井阿蘇神社おくんち祭で17番すべてが奉納されるのを皮切りに、約2か月間、人吉球磨の40以上の神社の祭礼で3～10番程度、奉納される。神前に向かって舞う神人和楽の神楽である。

申し込み方法

①氏名 ②住所 ③電話番号(代表者ご連絡先) ④申込人数
をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

- ハガキにてお申し込み
(送付先：〒880-0913 宮崎市恒久3丁目2番地18)
- FAXにてお申し込み
(FAX先：0985-89-5884)
- 特設サイトの応募フォームからお申し込み
みやざきKAGURAフェスティバル2024 検索

特設サイト
はこちら



駐車場について

- ① 地下駐車場(77台) 無料
※2時間超は1時間につき100円
 - ② 第5駐車場(80台) 無料
 - ③ 松橋駐車場(39台) 無料
- ※駐車場の台数には限りがありますので、出来るだけ乗り合わせ、または公共の交通機関をご利用ください。



駐車場内における事故・車上荒らし・盗難等につきましては、一切の責任を負いません。十分にご注意ください。